



2023年1月31日

各位

会社名 日本製罐株式会社
代表者名 代表取締役社長 松田 豊彦
(コード: 5905 東証スタンダード)
問合せ先 取締役経理部長 田中 修二
(TEL. 048-665-1257)

当社の「企業パーパス (使命)」と中期経営計画の策定に関するお知らせ

当社は、2023年度(2024年3月期)を初年度とする3か年の中期経営計画を策定しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 中期経営計画策定の目的

当社は1925年の創業以来、スチール缶専門メーカーとして顧客のニーズに機敏に即応し、顧客とともに成長し、魅力のある企業となることを基本方針として参りました。

当社はまもなく創業100周年を迎えるにあたり、これからの100年を築いていくために、従来の企業理念やビジョンの見直しと再構築の作業を続けてきました。

この度、当社のこれからの「企業パーパス (使命)」を決定し、2023年度を初年度とした3か年の中期経営計画を策定致しました。この中期経営計画を着実に実行していくことにより、更なる企業価値の向上を目指して参ります。

2. 対象期間

2024年3月期～2026年3月期(2023年4月1日～2026年3月31日)

3. 中期経営計画数値目標(連結ベース)

- | | |
|------------|-----|
| (1) 経常利益 | 5億円 |
| (2) ROE | 7% |
| (3) 連結配当性向 | 50% |

※詳細につきましては、添付資料「日本製罐 中期経営計画」をご参照ください。

以上

日本製罐株式会社

中期経営計画

2023年度～2025年度

2023年1月31日

日本製罐株式会社

ISO 9001 認証取得企業

目次

1. はじめに
2. パーパス(使命)とコーポレートビジョン
3. 企業理念
4. 地球環境に対する方針
5. 中期経営計画の定量目標
6. 目標達成のための重点施策項目
7. サステナビリティ
8. 参考(当社の事業について)

日本製糖株式会社

ISO 9001

認証取得企業

1. はじめに

当社は1925年の創業以来、スチール缶専門メーカーとして、顧客のニーズに機敏に即応し、顧客と共に成長して参りました。

この100年近い歴史の中で、絶えず磨き上げてきた技術と積み重ねてきた信頼を誇りにしつつも、現状に満足することなく、自らの変革をいとわず、これからの100年を築いていくために、従来の企業理念やビジョンの見直しと再構築作業を続けてきました。

そして、この度、当社が事業活動を行う上での基礎・判断の基準となる『パーパス(使命)』を決定致しました。

この『パーパス』を起点とする企業理念と、2023年からの中期経営計画を策定し、着実に実行していくことにより、今後更なる企業価値の向上を目指して参ります。

2. パーパス(使命)と、コーポレートビジョン

日本製罐の新たな飛躍を目指し、これからどのような会社となるべきかを全社で議論し、『パーパス(使命)』を次のように決定致しました。

パーパス

「顧客への+(プラス)、社員への+(プラス)、社会への+(プラス)。
+(プラス)創造を通じて、明るく豊かな未来を創造していく」

この『パーパス』を、日々実現していくに際し、目指すべき企業の姿を、『コーポレートビジョン』として、シンプルに表したのが、次のワンワードメッセージです。

コーポレートビジョン

「+(プラス) 創造企業」

私たちはこのパーパス実現のために努力して参ります。

3. 企業理念

この「パーパス」を起点とする企業理念として、以下の3つを策定致しました。

① 顧客への+（プラス）

お客様にとって魅力のある缶メーカーであるよう、付加価値の高い新しい製品と、新しいソリューション作りに、常に熱い想いで勇敢にチャレンジし、お客様に+（プラス）を提供して参ります。

② 社員への+（プラス）

社員皆が、夢と希望に燃えて、One Teamとして楽しく仕事ができる安心安全な職場環境と人事制度で、社員の皆に+（プラス）を提供して参ります。

③ 社会への+（プラス）

人々の日々の暮らしを陰から支え、安心で豊かな、快適で持続可能な社会づくりと、人と地球にやさしい未来作りのため、社会に+（プラス）を提供して参ります。

顧客への+（プラス）、社員への+（プラス）、社会への+（プラス）創造が、結果として、企業収益を生み、株主への配当と、株価上昇として、株主への貢献に繋がると考えています。

4. 地球環境に対する方針

日本製罐は、地球環境の保全が人類共通の重要課題であると認識し、以下の環境理念を決定致しました。この環境理念の下、地球環境の保全を経営の重点課題の一つとして、事業活動の全域において環境負荷低減活動と、環境対応商品の開発を行って参ります。

環境理念

『常に地球環境を考えて、人と地球にやさしい未来作りを目指します』

また、この環境理念をシンプルに表すために、以下の環境コーポレートメッセージを設定致しました。

環境コーポレートメッセージ

『NIKKANは、未来のKAN-kyouを今日も考えています』

社員一人一人が、この環境理念をしっかりと理解して、精一杯努力して参ります。

5. 中期経営計画の定量目標

2025年度の目標(連結ベース)を、以下の通り設定致しました。

- ・ 収益性 : 経常利益 5億円
- ・ 資本効率性 : ROE 7%(従来は5%)
- ・ 株主還元 : 連結配当性向 50%(従来は30%)
- ・ 人財戦略 : 女性管理職比率 5%

※ バランスシート改革として政策保有株式の売却を行い、得た資金により有利子負債の圧縮、自己株式取得を行う

(参考)10年後(2032年度)のビジョン

- ・ 収益性 : 経常利益 10億円
- ・ 資本効率性 : ROE 10%
- ・ 株主還元 : 連結配当性向 50%
- ・ 人財戦略 : 女性管理職比率 10%

更なる飛躍を目指す!



6. 目標達成のための重点施策項目例

(1) 経営基盤強化

- ・コア事業の体質を強化し、更なる収益の確保を目指します
- ・製造原価の更なる低減を行います
- ・不動産賃貸事業の収益力アップを図ります
- ・不稼働資産の有効活用を図ります
- ・配送効率化による、ロジスティックコストの削減を図ります

(2) 価値創造

- ・持続的成長が可能となる新たな成長分野への投資、新製品の開発を続けます
- ・異業種とのタイアップによる新たなデザイン、意匠を追求します

(3) 成長への布石

- ・人事制度の刷新と、教育制度の充実、ダイバーシティ推進による新しい発想と企業文化の変革を目指します
- ・業務提携、M&Aを推進します

(4) 社会課題の解決

- ・持続可能な社会の実現につながる研究に積極的に投資します
- ・環境負荷低減のための各種施策を提案します

7. サステナビリティ

引き続き、強固なガバナンス体制構築と、持続可能な社会の実現、ダイバーシティの実現に向け、種々の取組みを進めて参ります。

～現在の取組み～

- ・コーポレートガバナンス委員会設置とステークホルダーの信頼維持
- ・埼玉県環境SDGs取組宣言とSDGs活動推進
- ・さいたま緑のトラスト協会加盟と環境保全ボランティア
- ・エコキャップ活動とワクチン寄贈活動
- ・さいたま市SDGs認証企業の認証取得とSDGs活動
- ・女性活躍に向けた取組み
- ・埼玉県シニア活躍推進宣言企業の認定取得とシニア活躍活動
- ・地域クリーン作戦を通じた地域社会への溶け込みと、地域社会の人々の幸福を実現します
- ・人権尊重に関するグループポリシー設定



8.【参考】 当社の事業について

1925年設立 スチール缶専門メーカー

① 金属缶製造販売事業

- ・工場： さいたま本社工場、千葉工場、新生製缶(子会社)の大阪工場、伊丹工場
- ・18L缶： いわゆる一斗缶と呼ばれる金属容器。塗料業界、油糧業界、化学業界などに幅広く提供され、日本経済を陰で支える産業用資材
- ・美術缶： 家庭用塗料缶や食品が充填される小型の金属容器。
金属印刷によるデザインを施したもの

② 不動産賃貸事業

本社工場隣接地に、物流センター・事務所を備えたビルを所有し、賃貸事業を営む

「顧客への＋（プラス）、社員への＋（プラス）、社会への＋（プラス）。＋（プラス）創造を通じて、明るく豊かな未来を創造していく」

「＋（プラス）創造企業」

日本製罐株式会社

埼玉県さいたま市北区吉野町2-275

<http://www.nihonseikan.co.jp/>

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点における情報に基づき判断したものであり、今後の業界動向等により変動する可能性があります。

また、本資料は当社をご理解いただくために作成したものであり、当社への投資勧誘を目的としたものではありません。